

慶應志木会会報

慶應志木会(慶應義塾志木高等学校同窓会)

2015  vol. 35



皆でいこう！ イベントのお知らせ
枇杷の会/歩こう会/テニス大会/志木会マスターズ

母校の「今」が分かる
体育部会・文化部会 NOW / クラブ戦績

会員の「今」が分かる
同期会 & OB 会だより

大館元教諭寄稿
「幻の学部『獣医畜産専門学校』」

卒業 40 年寄稿
卒業式に招待されて

会長ご挨拶

慶應志木会会長
松下 賢次



今年 TBS のマスターズ中継は、40 周年をむかえました。私も現役時代 13 回実況を担当しました。以前マスターズを一言で表すと「偉大なるマンネリ」と表現しました。毎年同じオーガスタナショナル GC で行われるマスターズは、ピンポジションなど伝統を重んじ名勝負を演出しています。然し、コースは毎年改造を重ねてマスター達の挑戦を待ち受けます。同じ事を続ける事は、簡単な事ではありません。「古きを尋ね新しきを知る」この精神があるからこそ、そこには J・スペースの様な新しいヒーローが誕生します。私達の慶應志木会も、今年は役員を改選し次期志木会大会の実行委員も決定します。ここまで志木会を支えて下さった先輩方に加え、

新しいスタッフで志木会の新時代を築いてまいります。会員の皆様と共に、志木会を大いに盛り上げて参ります。どうぞ宜しくお願いいたします。

お知らせ

今年度、慶應志木会役員の改選が行われました。詳細は p.23 の慶應志木会役員・幹事一覧をご覧ください。

「志木会奨学金」の募集は続きます

会員各位のご協力によりスタートいたしました「慶應志木会奨学基金」が平成 21 年秋から生徒への給費を開始いたしました。ご協力をいただきました皆様に感謝申し上げます。

しかしながら、現在の基金額は運用益を確保し、安定した給費を継続できる十分な額とは言えません。長期的に安定した給費の継続と給費対象者・給費額の拡大を図るために、志木会では寄付金の募集を継続しておりますので、是非ともご協力を賜わりたく、心からお願い申し上げます。

なお、「慶應志木会奨学基金」に用途を指定した寄付となるため、用途指定をした寄付申込書が必要になります。寄付に対する減免措置については従前どおり慶應義塾基金室から領収書並びに所得税、法人税の寄付金控除証明書が送付されます。

【募金要綱】

慶應志木会奨学基金

1. 募金単位 1口 一万円
2. 払込方法 従来の口座振り込みから塾の基金室へ変更になりました。
詳細は慶應志木会事務局までご連絡下さい。

TEL 048-471-1959 メール info@keio-shikikai.jp



名誉会長ご挨拶

慶應義塾志木高等学校長
慶應志木会名誉会長

高橋 郁夫



会員相互の、それに母校とのコミュニケーション・ツールとして『慶應志木会報』（第35号）が今年も発行されましたこと、心よりお慶び申し上げます。志木会の皆様には、「慶應志木会奨学金」、「慶應志木会賞」、それにご寄付など、日頃より多大なるご支援を賜わり、何よりもまず感謝申し上げます。

本校では、去る3月24日に65期生292名が学窓を巣立っていきました。当日は、卒業40年の25期生約60名もお祝いに駆けつけてくださり、後輩たちの門出を温かく見守ってくださいました。

また、4月5日には、入学式が行われ、276名が新たに入学しました。この日は、小雨の降るあいにくの天気でしたが、桜の花も香る慶應志木高に多くの保護者もお越しくださいました。志木高の豊かな自然とアットホームな校風の中で彼らが充実した3年間を過ごしてもらえよう教職員一同、決意を新たにしましたところ です。

ここで若干の近況をお伝えするなら、慶應義塾大学が昨年スーパーグローバル大学トップ型に選定されたこともあり、志木高でも国際化が少しずつ進んで参りました。従来のオーストラリアに加えて、昨年より台湾、今年からフィンランドの高校との短期交換留学制度ができました。この他にも今年は慶應義塾一貫教育校派遣留学やハワイの名門プナホウ・スクールのSGLI (Student Global Leadership Institute) プログラムなどにも生徒を派遣することになりました。

なお、このことに留まらず、本校のホームページでは、学校案内、教育内容・活動状況、入試・進路、生徒・卒業生の活躍などの最新情報を適宜発信しております。母校の現状を知るメディアの一つとして、これからもぜひご活用頂ければ幸いです。

最後になりましたが、松下賢次会長をはじめとする志木会の皆様には、今年もこれまでと同様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。収穫祭などの機会を捉え、ぜひ懐かしの母校に皆様お誘い合わせの上、お越し頂ければ幸いです。会員各位のご健勝と貴会の益々のご発展を心よりお祈り致します。

志木高教職員の動向

教 員

退職 非常勤講師 5名
新任 非常勤講師 5名

職 員

退職 長田 信夫君 (事務長)
新任 岡本 真治君 (事務長)

人事交流による異動

志木高 ⇒ 女子高	徳竹 成之君	
日吉高 ⇒ 志木高	鈴木 平君	交流期間終了
中等部 ⇒ 志木高	前北 馨君	
兼務		
志木高・NY学院	河野 文彦君	H27.4.1～未定

「枇杷の会」へのお誘い 「吟行こと始め」

15期（亦楽会）倉田 伸二

俳句には興味はあるが吟行でどんなことをするかご存じない方に、簡単な進め方をご紹介させていただきます。次回11月28日（土）に予定されている志木会の文化活動の一つ「枇杷の会」の吟行にご参加いただければと思ひ筆をとりました。今年の初夏の吟行は5月末に湯島聖堂、神田明神界隈を散策しながら句を作ることになりましたが、参加者は2時間程度の間7句を目標に句を作ります。その後句会の場に集合し以下、①投句（短冊状用紙へ自分の句を一句ずつ書き込む）、②清記（全員の短冊をシャッフルし配りなおし、各人が清記用紙への記入）、③選句（参加者は、自分の書いた清記用紙の中に気に入る句があれば、自分の選句用紙に書き出し、特に気に入った句の上に丸印を付けます。）、④披講（幹事が選句用紙を回収して読み手が選句用紙に書かれた句を皆の前で読みあげます。自分の句が選ばれた時は自らの俳号（名前、私の場合は伸次）を名乗ります。もちろん初心者の私の句は中々選句されませんが、ベテラン俳人の方々の句は多くの方から選ばれます。そして最後が⑤選評（本井英主宰の選句披露と選評をいただきます。）は枇杷の会の楽しみの一つ、選評後のお酒を交えた懇親会となります。日ごろ使わない知的エネルギーを出し切った後のビールの咽喉越しは最高です。尚、本井主宰は以前志木高で教鞭をとっておられました。現在は句会の中ではかなり有名な「夏潮」の主宰者をされており全国にお弟子さんがおられる中で、枇杷の会の育成にも努めていただいております。俳句作りはボケ防止に役立つといわれておりますし、日頃気がつくことがなかった日本の季節感なども味わうことができます。皆さん是非次回の吟行にご参加を！

志木歩こう会 “日本橋から慶應義塾発祥の地、最後は明治丸” 開催の知らせ

恒例の「志木歩こう会」を今年度は下記の要領で実施致します。OB各位の参加をお待ちしております。ご家族の参加も歓迎です。

開催日時：平成27年10月17日（土） 午前10時～午後4時 ※小雨決行

集合場所：日本橋三越 ライオン前 10時集合

コース：日本橋三越⇒新しくなった日本橋界隈
⇒伝馬町牢屋敷跡・吉田松陰終焉の地
⇒日本橋魚河岸記念碑⇒日本橋⇒銀座
長寿庵（昼食）⇒歌舞伎座⇒築地市場
⇒慶應義塾発祥の地⇒勝鬨橋⇒明治丸
（越中島） ※コースが変更になる場合があります

参加申込：9月25日までに志木会事務局宛メールにて（参加募集人数：20名程度 先着順）

費用：昼食3,000円くらい

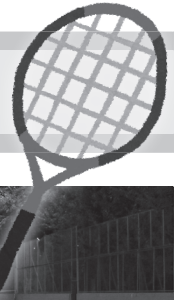
幹事：35期 大澤宏樹



※昨年は、「早稲田から神楽坂」を歩きました。お天気もよく敵の本陣も巡り楽しい一日でした。



テニス大会 今年もやります！



学校のご好意で志木高のテニスコートを利用させて頂いております。懐かしの志木高で気持ちの良い汗をかきましょう。お昼は近所で懇親会をします。皆様のご参加お待ちしております。ご家族の参加も歓迎です！

開催日時：平成27年11月15日(日) ※雨天中止

開催時間：午前9時～12時半 その後懇親会

集合場所：慶應志木高 正門（警備員室前）

参加申込：10月30日までに志木会事務局宛メールにて
(参加募集人数：30名程度 先着順)



※更衣室がありますので、ラケット・シューズ・お着替えをお持ち下さい。

※昨年は御婦人の方の参加も頂き、かなりの熱戦が繰り広げられました。将来の志木高生予備軍も学校見学がてら是非遊びに来てください！

幹事：35期 大澤宏樹

慶應志木会会員各位

慶應志木会会長 松下 賢次

会費納入のお願いについて

会員の皆様には益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

同窓会の発足以来、種々の活動を通じ会の基盤作りに邁進して参りましたが、お陰さまで会の運営も順調に推移いたしております。これも偏に会員の皆様のご理解とご協力の賜物と深く感謝いたしております。

毎度のお願いになりまして大変恐縮で御座いますが、今後の慶應志木会の安定的運営かつ一段の充実発展のために**会費納入**のご協力をお願い申し上げます。

会費につきましては発足時より5年を一区切りとして大学を卒業された会員諸兄から年会費二千元を一括して「**5年分一万円**」のご協力をお願いいたしております。

会費の値上げも検討いたしました。第6期分につきましても厳しい経済情勢下ではありますが従来同様一万円にてお願いさせていただくことになりました。

納入方法につきましてはお手数ですが同封の振込用紙をご使用の上、お近くの郵便局よりご送金下さいますようお願い申し上げます。

会員の皆様におかれましては引き続きご理解の上、ご協力賜りますよう心よりお願い申し上げます。なお、分割納入を希望される方は振込用紙の通信欄にその旨記載の上、今年度分の二千元を納入下さい。

記

振込金額：10,000円 取扱金融機関：全国ゆうちょ銀行（早期振込にご協力下さい）
〈問合せ先〉志木会事務局 Tel 048-471-1959(志木高内) Fax 048-471-1974

会費の納入者を増やすため新しい会費納入方法の検討をしています。詳細が煮詰まってきたら会員皆様の意見をお聞きして決めて行く予定です。

志木高・志木会行事日程

		慶應志木会		志木高等学校	
		27年度予定	26年度実績	27年度予定	
4月				4/5 入学式 4/6 ガイダンス 4/16 健診	
5月	5/23 枇杷の会(湯島聖堂、 神田明神界限～) 5/23* 校内自然観察会 5/27 幹事総会	5/19 幹事総会 5/24 枇杷の会 (葛飾 水元公園) 5/24* 校内自然観察会		5/18～20 1年生総合学習研修旅行 (プラン変更) 5/27 運動会 5/30 慶早戦	
6月	6/6 5高JKカップ 会報発行			6/23～27 第一回 定期試験 6/29 クラスマッチ(1年) 6/30 クラスマッチ(2年) 芸術鑑賞(3年)	
7月		7/15 会報発行 7/26 5高JKカップ		7/1 クラスマッチ(3年) 7/17 志木演説会 7/2～ 夏季休業	
8月					
9月	9/19* 校内自然観察会	9/27* 校内自然観察会		～9/5 夏季休業 9/29～10/2 2年研修旅行 3年見学旅行 1年救命講習	
10月	10/17 歩こう会 日本橋～銀座～築地～ 明治丸(越中島) 10/24 ホームカミングデー (15期&40期)収穫祭	10/3 志木マスターズ (富士OGMゴルフクラ ブ市川コース) 10/4 歩こう会 (早稲田から神楽坂へ) 10/25 枇杷の会 (横浜金沢八景) 10/25 ホームカミングデー (14期&39期) 収穫祭		10/24・25 収穫祭	
11月	11/3 志木マスターズ (ノーザンカントリー クラブ なの花コース) 11/15 テニス大会 (志木高) 11/28 枇杷の会 (三田山上、寺町界限を 歩く)	11/16 テニス大会(志木高)		11/1 学校説明会 11/18～21 第二回 定期試験 11/25～27 クラスマッチ	
12月				マラソン大会 12/11 志木演説会 12/21～ 冬季休業	
1月				～1/7 冬季休業 自己推薦入試 1/13～16 第三回 定期試験(3年)	
2月	幹事新年会	2/26 幹事新年会		一般・帰国入試 2/20～24 第三回定期試験(1.2年)	
3月	3/24 卒業式 卒業40周年(26期)	3/24 卒業式 卒業40周年(25期)		3/24 卒業式	

* 志木高校内自然観察会は宮橋裕司教諭(理科)を中心に開催されます(志木会会員参加可)

* 枇杷の会は本井英元教諭(国語)のご指導の下に開催されます

「慶應志木会賞」について

慶應志木会

慶應志木会賞は、クラブおよびその他の活動において、特に功績のあった団体または個人の業績を称え、もって学校生活の向上に資することを目的として平成19年3月の卒業式に初めて贈呈されました。体育、文化、一般の3部門において教員からの推薦をもとに選考委員会で決定し、本年で9回目を迎えます。

本年度は、バスケットボール部、器楽部、軟式野球部、端艇部の4グループと4名の生徒を表彰いたします。

1. バスケットボール部 3年生11名（2年連続受賞）

平成26年度学校総合体育大会兼全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会埼玉県予選（インターハイ予選）ベスト4（創部以来2度目）

2. 器楽部 3年生6名（4年連続受賞）

- ①第14回東日本学校吹奏楽大会 金賞受賞
- ②第20回日本管楽合奏コンテスト全国大会・高等学校A部門
文部科学大臣賞、最優秀グランプリ受賞（日本一）

3. 軟式野球部 3年生8名

- ①平成26年度第59回全国高等学校軟式野球選手権埼玉大会 優勝
- ②平成26年度第59回全国高等学校軟式野球選手権南関東大会 準優勝

4. 端艇部 3年生8名（3年連続受賞）

- ①平成26年度全国高等学校総合体育大会ボート競技大会兼第62回全日本高等学校選手権競漕大会（インターハイ）出場 男子舵手付クォドルブル 準々決勝進出
- ②平成26年度学校総合体育大会兼全国高等学校体育大会ボート競技県予選会
男子シングルスカル（1,000m）第2位入賞
- ③平成25年度関東高等学校選抜ボート大会 男子ダブルスカル（1,000m）第4位入賞

5. 空手部 木村 爽君

- ①第22回～24回 東京六大学空手道選手権大会 高校男子個人組手 優勝（三連覇）
- ②第47回群馬県空手道選手権大会（2012国体予選）男子個人組手（高校生）第4位
- ③第49回群馬県空手道選手権大会（2014国体予選）男子個人組手（高校生）準優勝

6. 弓術部 秋山 大地君

- ①平成24年度全国弓道選抜大会県予選大会 個人優勝 全国大会出場
- ②平成25年度インターハイ予選県大会 団体3位
- ③志木高弓術部個人的中率 歴代1位

7. 小嶋 一樹君

「小説現代」のショート・ショートコンテスト 首席入選
選者は作家の阿刀田高氏

8. 保泉 空君

東洋大学主催の第28回「現代学生百人一首」 入選 応募総数54,850首
入選作品「秋風に さらわれるよう 刈り取られ 夕日の中に 残る稲機」

體育部會NOW 第15回

庭球部 部長 足立 文治

「チームテニスを共に目指した 500 名の OB に感謝！」

志木高校を初めて訪れたのは、1975年5月の教育実習ガイダンスの日であった。教育実習で覚えていることは、実習に遅刻しないように何度か徹夜をしたこと、教壇に立った時に足が震えたこと、テキストは研究社の文法書、そして、生徒がとてものんびりしていたこと。その実習が縁となって、翌年から非常勤の講師に、1978年から専任教員にいただいた。

テニスとの関わりは、非常勤の講師となった時からである。当時は、多くの先生方がテニスをなさっておられた。運動好きな私はすぐにテニスに夢中になった。テニスの手ほどきは音楽の新保雅司元教諭から受けた。コートが空いている放課後だけではなく、お互いの授業が空いている時もコートに行きボールを打ちあつた。雨が降っているときは一緒に素振りをし、ピロティーで走り、また夜はビールを飲みながら録画したプロの試合を観た。そんなテニスに夢中になった生活が長く続いた。

庭球部の部長は、留学から帰国した翌年の1982年から始まった。今年が34年目になる。最初の1, 2年は、部長としてどのように指導したらいいかわからなかった。ただ、試合で生徒に勝ちたい思いで、毎日のように生徒と走り回り、ボールを追いかけて、打っていたに過ぎない。それが部長なりたての私の指導らしきことであった。部長を3年ぐらい経験すると少しは指導らしいことができるようになってきた。そして、「個人スポーツとしてのテニスではなく、チームスポーツとしてのテニス」を目指し始めた。部員全員がチームにとって、なくてはならない存在となるよう心がけるようになった。

部長としての34年間のあいだには、関東大会には5回出場し、平成4年度の新人戦団体戦では埼玉県で優勝し、全国選抜大会にも出場した。インター・ハイ大会のシングルスに2年連続出場する選手も育った。誇れることは、そういったすべての選手が、民間のテニスクラブではなく、本校コートで練習を重ねていって、チームメートのサポートを、大学生コーチの指導を受け、競技上の目標を成し遂げたこと。

しかし、好成績に恵まれたチームだけではなく、団体戦一回戦敗退のチームのこともよく覚えている。卒業生の名前と顔写真を見れば、彼らのテニススタイルが、彼らの笑顔が浮かぶ。彼らから彼らの様々な面での成長する過程を間近で知る喜びをたくさん頂いた。さらに、卒業してからもコートを訪れ、後輩の指導をしてくれる。また、狭い世界しか知らない私に様々な話をしてくれる。今度は彼らが私の教師となってくれている。

来春から新たな庭球部部長、副部長の教諭方が庭球部を支えてくださる。そのお二人にテニス経験がないとしても、コーチングスタッフは充実しているので、少しずつテニスに興味を持っていただき、教諭方の独自の色を部員達と共に生み出してくださればと思う。庭球部のさらなる充実した活動を楽しみにしている。

文化部会NOW 第15回

英語部 部長 伊藤 英治

英語部 ESS パートは、昨年度は6名で細々と活動を続けておりましたが、少々画期的な出来事がありましたので、それらについて活動報告をさせていただきます。

各高校の ESS の多くは UNION (全国高等学校英語会連盟) という団体に所属しています。本校の ESS も UNION 関東 (慶應義塾の4高校や、早稲田高等学院、中央大学附属、私立武蔵などが参加) に所属し、お互いの英語力の向上を目指して様々な行事を開催しています。年間を通して大きな行事は、夏休みに行われるディベート大会と、3月に行われる Drama Festival です。

ディベート大会には、昨年久しぶりに参加することができ、2勝2敗という成績を取める事ができました。

Drama Festival については、志木高はこれまで部員不足のため参加することができませんでしたが、この3月に初めて「TEAM KEIO」として塾高・女子高・SFC高とともに4校合同で出場することができました。Drama Festival とは数十分間の英語劇を披露し、それをジャッジメントが評価するというものです。昨年は、塾高・女子高・SFC高の合同チームが優勝をしたので、今年も優勝を目指そうと12月より練習がスタートしました。「TEAM KEIO」の今年の脚本は“10 things I hate about you” (内容は高校生の恋愛を描いたものです) に決まり、本校の高綱馨君が主役に抜擢されました。3月に入ってからは、猛練習でした。そして迎えた当日、無事演じ切る事ができましたが、惜しくも優勝は逃しました。残念な結果でしたが、慶應義塾の4高校で1つのことを成し遂げる機会が少ない中、高綱君をはじめとして本校の部員は、貴重な経験をする事ができました。

英語部軽音パート (昨年度は28名が在籍) は、収穫祭でのライブをメインの活動としていますが、数年前からはその年度の3年生が春休みに卒業ライブを行っています。この3月も3年生の5つのバンドがライブを行いました。

●●● クラブ戦績 ●●●

クラブ	戦績
体育部會	
硬式野球部	26年度 南部地区新人大会 1回戦 23-1(5C)細田学園 ブロック決勝 0-9(7C)浦和工業 秋季大会地区予選 4-5大宮東 27年度 春季大会地区予選 1回戦 9-0(7C)大宮 代表決定戦 7-2大宮開成 県大会2回戦 5-1立教新座 3回戦5-6×(延長14回)朝霞 ベスト16
競走部	H26年度全国高等学校駅伝競走大会 埼玉県大会 23位 埼玉県駅伝競走大会 16位 奥多摩渓谷駅伝競走大会 3位
卓球部	団体戦 新人大会県大会出場(小川 溝口 加藤 高柳 千葉 後藤 林 小林) 団体戦 関東大会予選県大会 ベスト32(小川 溝口 後藤 加藤 千葉 吉田 久世 小林) シングルス 新人大会県大会出場(溝口)
ラグビー部	新人戦 県6位 関東大会県予選 県ベスト8 全国大会県予選 県ベスト8
庭球部	H26.8~11 新人戦 個人戦埼玉県大会 シングルス ベスト32 野沢 ベスト64 中野 寺村 星野 ベスト128 岡本 洲貝 佐藤 ダブルス ベスト32 岡本・中野 ベスト64 堤・野沢 寺村・岩淵 団体戦埼玉県ベスト8 H27.4~5 個人戦埼玉県大会 シングルス ベスト32 野沢 ベスト64 中野 洲貝 ベスト128 佐藤 岩淵 岡本 星野 ダブルス ベスト32 中野・野沢 岡本・寺村 洲貝・駒野 団体戦埼玉県大会 ベスト16
端艇部	H26年度 慶應志木会賞受賞 関東大会準決勝進出(M4X+)南関東インターハイ 準々決勝進出(M4X+)(インターハイ出場は3年連続) 県新人戦準優勝(M4X+)関東選抜大会 第5位(M4X+)第64回お花見レガッタ優勝(M4X+)第65回 戸田レガッタ優勝(M4X+)・第6位(M2X) 関東大会出場決定(男子の全種目)
バレーボール部	西部支部春季大会 1回戦 0-2 川越 敗者トーナメント1回戦 2-0 西武台、2回戦 1-2 川越南 インターハイ予選西部支部予選会 2-1 所沢 インターハイ予選埼玉県大会 0-2 越谷 選手権大会西部支部予選会1回戦 2-0 朝霞、2回戦 1-2 立教新座 敗者トーナメント1回戦 2-0 新座柳瀬、2回戦 2-0 朝霞、3回戦 1-2 和光国際 新人大会西部支部予選会 1回戦 1-2 川越工業・狭山工業
ホッケー部	H26.4 埼玉県インターハイ予選2位 H26.5 埼玉県インターハイ予選2位 H26.10 埼玉県新人戦予選 2位 東日本ウインターカップ12位 H26 東日本ホッケー大会 7位
サッカー部	埼玉県新人大会西部支部予選：2位 1回戦3-0東野 2回戦2-0飯能南 3回戦1-1(PK5-4)武蔵越生 準々決勝1-0狭山ヶ丘 準決勝2-0 ふじみ野 決勝1-3聖望学園 埼玉県新人大会県予選：ベスト16 1回戦2-2(PK3-4)浦和東 関東大会埼玉県予選：ベスト16 1回戦2-0南稜 2回戦0-1成徳深谷 インターハイ西部支部予選：予選通過 1回戦シード 2回戦8-0鶴ヶ島清風 代表決定戦10-0川越初雁
バスケットボール部	H26年度 慶應志木会賞受賞 泉友樹雄(3年)西部支部 選抜チーム主将 埼玉県 優勝
弓術部	H26年度 慶應志木会賞受賞(秋山大地)
ゴルフ部	関東高等学校ゴルフ選手権夏季大会 埼玉県大会 個人戦 細谷 79 20位 団体戦 細谷、佐藤、金澤 246 4位 関東ジュニアゴルフ選手権 出場 関東高等学校ゴルフ選手権 決勝大会 個人戦 細谷 出場 団体戦 細谷、佐藤、川勢、増村、金澤 出場 慶早戦 出場 埼玉県高等学校ゴルフ連盟研修競技会 出場 関東高等学校ゴルフ選手権秋季大会 埼玉県大会 個人戦 佐藤 77 8位
剣道部	浦和高校定期戦 2人残(勝) 西部地区剣道大会(団体)3回戦敗退 西部地区剣道大会(個人)益子・石井・山口 1回戦敗退、玉地 3回戦敗退 関東大会予選(個人)玉地 1回戦敗退 関東大会予選(団体)2回戦敗退 インターハイ予選(個人)玉地 3回戦敗退、山口 1回戦敗退 インターハイ予選(団体)2回戦敗退 朝霞地区剣道大会 大原2位、木村3位 しらこぼと杯争奪剣道大会1回戦敗退 第59回五大学付属剣道大会 6位 埼玉県私学大会 ベスト8 第5回早慶対抗剣道試合 新人戦(勝)、本戦(負) 西部地区新人大会 ベスト8 埼玉県新人大会 1回戦敗退 桜友杯争奪剣道大会予選リーグ敗退 関東私立選抜大会 2回戦敗退 柴田旗大野杯争奪剣道大会 2回戦敗退
スキー部	インターハイ県予選 GS 田中17位 北野23位 池田36位 栗原 DF、SL 田中15位 北野21位 池田30位 栗原3位 B GSL 宮木3位 埼玉県選手権 SL 田中60位 北野68位 栗原72位 池田80位 宮木 DF 埼玉県選手権 GSL 池田68位 宮木72位 群馬県スキー選手権 SL 田中52位 北野53位 GSL 田中76位 北野77位 関東高等学校スキー大会 GS 田中96位 北野114位 SL 田中60位 北野 DF 関東スキー選手権大会 GS 池田66位 北野 DF 宮木 DF SL 北野42位 池田44位 宮木45位
ソフトテニス部	埼玉県選手権1ペア二次予選進出、東京六大学付属校高校大会個人の部1ペア4回戦進出、埼玉県新人大会1ペア出場、関東大会見予選1ペア出場、
水泳部	【関東予選】200m平泳ぎ 足立：決勝9位 400mメドレーリレー 石倉・足立・渡邊・夏秋：15位 【国体予選】200m平泳ぎ 足立：11位 200m個人メドレー 坂本：15位 200m背泳ぎ 坂本：19位 100m平泳ぎ 足立：20位 100mバタフライ 渡邊：19位 石倉：20位 200mフリーリレー 夏秋・渡邊・石倉・菅原：10位 200mメドレーリレー 石倉・足立・渡邊・夏秋：12位 【新人大会】200m平泳ぎ 足立：決勝7位 50m自由形 夏秋：18位 菅原：19位 100m自由形 夏秋：14位 八木：20位 200m背泳ぎ 坂本：16位 100m平泳ぎ 足立：15位 200m個人メドレー 坂本：12位 200mフリーリレー 足立・八木・坂本・菅原：13位 400mフリーリレー 夏秋・八木・坂本・菅原：12位 400mメドレーリレー 橋本・足立・坂本・夏秋：11位
軟式野球部	H26年度 慶應志木会賞受賞
空手部	H26年度 慶應志木会賞受賞(木村爽) 東京六大学空手道選手権 高校生の部 優勝(3連覇) 木村爽 関東高等学校空手道大会埼玉県予選 3年生1名 ベスト16 3年生1名 ベスト32 2年生1名 ベスト32 インターハイ埼玉県予選 3年生1名 ベスト16 2年生1名 ベスト32 埼玉県新人戦 2年生1名 ベスト32 オール慶應空手祭 組手 優勝 木村爽
文化部会	
器楽部	H26年度 慶應志木会賞受賞 慶應塾長賞受賞(一貫校)
ワグネル・ソサイエティー男声合唱団	第57回 埼玉県合唱コンクール 銀賞 第26回 埼玉県ヴォーカルアンサンブルコンテスト チームA 銅賞 チームB 銅賞
囲碁将棋部	第30回関東高校囲碁選手権埼玉県予選 男子個人戦 準優勝 染谷州真

同期会 &OB会だより

5期 100 クラブ記念会

5期生を中心に集い、40年に亘り、ゴルフと懇談を楽しんできた「100クラブ」も、ゴルフ会は、150回を数え、今回を最後に、一応のピリオドを打つ事になりました。思えば、第1回は、昭和50年4月の東京ゴルフ倶楽部でした。(優勝者・故東松実君) 最終の第150回は、3月31日、相模カンツリー倶楽部(優勝者・寺嶋延行君)でした。最終回は、好天に恵まれ、満開の桜の下、4組16名が、打ち納めを楽しみました。「やるなら100回は、やろうよ」「一度は、全員で100を切ろうよ」「常に、百姓の精神で、やろうぜ」(手抜きせず、丹精なくして、成育なし)との意を込めて『100クラブ』と命名した仲間にとって、このピリオドは、とても寂しい気持ちになるころでしたが、ゴルフ後の記念パーティーは、そんな気持ちを吹き飛ばす元気さで、大変楽しい宴でした。

パーティー会場は、慶應義塾大学三田キャンパス南校舎4階のザ・カフェテリアを貸し切らせて頂きました。特別料理や塾旗など、支配人の格別な配慮と森田忠次郎君の軽妙な総合司会で大いに盛り上がり、時の経つのを忘れる程でした。

参加者は、ロスアンゼルスが多木温久君(野球部OB)ほか、多数の遠来者や、ご無沙汰者、物故会員のご家族、加えて、参加できない弟会員に代って、1期卒の龍野和久、藤井淳の両先輩兄上も加わり、大いに、賑わいの輪が広がりました。

会の後半では、ギター伴奏と、女性プロヴォーカリストによる「日本の唄・世界のポピュラーソング」等で美声を堪能し、最後は「丘の上」「若き血」と続き、「勝利の拍手」で締め、全員

の健勝と幸せ、それに、志木高並びに慶應義塾の永遠の発展を祈りつつ、充実した気分の中、帰路につきました。

今後の100クラブ活動は、「好きな時に、好きな人が集まり、気楽に、飲み、打ち、駄弁る会にしよう」と言うのが、大方の皆さんの意見でした。来年は、会員全員が傘寿(80歳)を迎えます。

◁当日の参加者▷(敬称略)

飯田三代 多木温久 大山隆義・敬子 柏井一良
加藤晴彦 木下聡 小林石三 坂田紅子(故林成郎君長女) 坂田清晃 佐藤順一・知恵子 関山清竹 竹下武比古・君子 龍野和久 千勝公一 寺嶋延行 花井弘(旧姓鈴木) 林大祿 藤井淳 深澤登志夫 宮田勝 村山正 森田忠次郎 安川通夫 湯村嘉朗 和田浩一 渡辺弘治

5期 宮田 勝



9期 同期会便り

9期同期会の開催は やや先になりますが、10月24日午後13時より 新宿三井クラブにて開催の予定です。久しぶりの開催ですので、会員の皆さんの出席をお願い致します。委細は9月初旬に幹事より葉書にてご案内します。

9期幹事 佐々木、原田、五老
9期 五老輝彦

11期 「遊志会」26年度活動報告

遊志会では、毎年数回の活動を行っています。

今年、C組（望月・村木・栗原・川原）が幹事となり下記の行事を行いました。

26年10月30日 第87回遊志会ゴルフコンペ
……習志野CC 参加13名 優勝：馬淵君

27年3月15日 第8回遊志会ミュージック
フェスティバル……齋照修徳会会館コン
サートホール 参加31名

27年4月17日 26年度遊志会総会……日本橋
倶楽部 参加23名、菊本君（公認先達）
による「四国八十八か所お遍路講話」

27年5月11日 第88回遊志会ゴルフコンペ
……清川CC 参加12名 優勝：望月君
昨年めでたく古希を迎えましたが、まだまだ
元気でがんばっております。

27年度は、D組が幹事となり取り仕切ってま
います。

D組幹事（磯村・川瀬・服部・細谷・吉川）
＜27年度活動予定＞

27年10月22日（木）第89回遊志会ゴルフコ
ンペ（習志野CC）開催決定：参加者募集！

その他、決まりました行事に関しては随時連
絡いたします。

多くのご参加をお待ちしております。

11期 馬淵祥宏

のに最近仲間奥さんたち（未亡人）も仲間
になり女性会員が増えています。（良いことか悪
いことか……苦笑い）

当時の教諭方、授業、校舎、農芸、クラブ活
動など懐かしい話題が一杯です。ただ、連絡を
取れる仲間が増えないのでこの紙面を見て13期
の方は我々に連絡をください。

今年古稀になり2年後には大学卒業50年目
になります。塾から大学入学式のご招待が届き
ますので是非大勢で出席しましょう。今から楽
しみです。

四木会幹事 千葉、神谷、清水

4月22日のコンペ参加者です。次回は10月
20日予定。

13期 清水武寿



13期 四木 [よんもく] 会便り

我ら13期は定例として毎月第4木曜日5時か
ら銀座四丁目木挽町焼き鳥「暫亭」にて集まっ
ております。会場は同級生が経営している店を
お願いしています。

志木高校をもじって「四木会」という名称に
て集まり20年以上続いています。地方の仲間は
出張の日程を合わせて参加し、海外の仲間もフ
ランス、ドイツからも参加しています。数年前
にはドリーム旅行としてフランス、ドイツの仲
間に会いに15～6名にて豪華なツアーを行いま
した。200名の卒業生なのに卒業以来初めて会
った仲間もいるくらいです。

春、秋にはゴルフコンペを開催し、尾瀬沼散
策、鎌倉散策なども行っています。男子高校な

14期 ホームカミングデーに招待されて

卒業してから50年。半世紀が過ぎ招待された。
私はさいたま市内の開業医、当日は11時で受
付を切り、志木へ向かうはずだったが、実際に
飛び込みの患者が…。

埼京線、武蔵野線と乗り継ぎ北朝霞の駅へ到
着。ここから歩いてすぐのはずだったが、マン
ションが立ち並び行き止まりになっていた。

30年前には駅より母校が見えたのに…。

高校時代は無遅刻、無欠席で表彰されたが、
約30分遅れてしまった。

後藤、渡部元教諭とは、久しぶりの対面。高
3の北海道旅行（赤痢の疑い？）や校内の柿泥
棒（後藤元教諭は本気で追いかけないが、松井

元教諭に追いかけられると…)に対する“教育的指導”などの話で盛り上がった。

当日の参加者は16名。楽しいパーティーだった。来年3月で、全員が69歳に達する。

来春に“古希”の同期会を開催する予定だ。

出席者（敬称略）

小林、叶内、日比野、町村（以上A組）岩崎、加藤、冠城、三関、山川（以上B組）蓮沼、播（以上C組）一之瀬、岩本、西沢、西田、今村（以上D組）でした。 14期 今村 巍



又毎年恒例になっております後藤元教諭の独演会、今回はウクレレによるハワイアン演奏でした。毎年新しい事を披露して頂いているお姿に尊敬の念を抱いております。是非次回もお元気なお姿で我々を楽しませてください。

次回は新幹事が相当張り切っており、卒業50年と併せて盛大な亦楽会になることを期待しております。宜しく申し上げます。

15期 藤枝哲也



15期

第36回亦楽会開催報告

第36回目を迎える亦楽会を平成26年11月14日(金)に秋葉原の万世本店で開催しました。当日は後藤元教諭をお迎えし参加者は40名余りのメンバーが集い楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

今回は幹事全員で頭をひねり志木高時代のクラブ活動のエピソードを面白おかしく壇上で話してもらったり、今はありませんが寮生活を経験した人に同じように話をしてみました。更に慶應を卒業して45年経っているので、どの程度慶應の事を知っているか10問のクイズに答えてもらい一番良かった人に賞品を差上げるアトラクションをしました。

福澤先生、小泉元塾長に関係する問題や現在の慶應の状況に関係する問題などを出題しましたが残念ながら全問正解者はいませんでした。最高で9問正解者が居ました。平均で6.5問でまだまだ捨てたもんじゃないと感じました。

第37回亦楽会 卒業50年記念 開催のお知らせ

1965年に志木高等学校を卒業して早くも50年、あの当時を思い出すとまことに懐かしい、武蔵野の雑木林そして野火止用水、クラブ活動、寄宿舎生活そして勉強、毎年の旅行、懐かしいあのころの皆が集い、下記の要領で卒業50年記念亦楽会を開催いたします。皆様万難を排しましてご参集くださいますようご案内申し上げます。

記

開催期日：11月19日(木)

時 間：受付開始16:30 開宴17:00

場 所：三田山上 ファカルティクラブ

<http://www.keio.ac.jp/ja/access/mita.html>

会 費：8,000円（維持会費含む）予定

卒業50年ですので当時の先生方、できる限りご出席いただきまたアトラクションも愉快で楽しいものを企画中でございます。どうぞ皆様お誘い合わせてご出席くださいませ。尚、ご案内状は10月初旬に発送いたします。幹事一同大張り切りでお世話いたします。

A組 小川清久 ogawa51@jcom.home.ne.jp

B組 齊藤 大 saito@ito-gas.co.jp

C組 龍田尚哉 naoya_tatsuta@nichimo.co.jp

D組 杉村恵二 kands.ramugisu@gmail.com
(取り纏め役)

E組 高野信一 dereshim@u01.gate01.com
なお、住所・メールアドレスなど変更のある方はあらかじめ各クラス幹事にお知らせください。

15期 杉村恵二

17期 のび de メイト

17期同期会（のび de メイト）は、一昨年の志木会大会時に決めた同期会を平成26年10月17日（金）に「肉の万世・秋葉原本店」で開催いたしました。志木会副会長の増山君と学年幹事の北村基樹君、荘君、野村君、中村康二君、川鍋君、前嶋及びテニス部幹事の田中真介君が中心となって同期の参集を募った結果、70名という大勢の出席を得て盛大に行われました。会の冒頭、同期物故者24名に対し黙とうをささげた後、のび de メイト会長の村井誠君、元生徒会長の小川隆君の挨拶、続いてロンドンから来てくれた村井純一君をはじめ遠路から駆けつけてくれた方々の近況報告がありました。その後、永谷君の音楽事務所のソプラノ歌手によるミュージックなどをバックに大いに飲んで歓談し高校時代の思い出に浸りました。最後に応援指導部青木寛一君、渡辺伸一君の指揮のもと、全員肩を組んで若き血を合唱し、小川君のあとの生徒会長の樋口順一君の閉会挨拶で締めくくりました。次回同期会は志木高卒業50周年となる平成29年に開催することにしましたが、その前に松久君が現地幹事となってゴルフ大会を岐阜にて開催することも決めました。今般そのゴルフ大会の日程が下記の通り決まりましたので多数の参加を募ります。

〈日程〉平成27年9月29日（火） 1泊

〈場所〉岐阜カンツリークラブ（〒504-0801 岐阜県各務原市蘇原北山町2-8、TEL058-382-1121）

〈スケジュール〉9月29日7時頃東京駅→新幹線にて名古屋駅（8:40）経由JR岐阜駅9:30頃→松久君等の車にてゴルフ場着10時頃→10:30頃スタート→プレイ後岐阜市内ホテ

ル（長良川温泉 十八楼）にて表彰式、宴会、宿泊

9月30日朝解散（当日ゴルフ再チャレンジ或いは周辺観光可）

まだ先ではありますが、参加希望者はまずは下記幹事までご一報願います。

増山治一郎：masuyama@waltz.ocn.ne.jp

中村 康二：Koji230815@gmail.com

前嶋 晶廣：maejin-39@ft.dws.ne.jp

松久 博夫：527ceo@gmail.com

電話& FAX 058-248-0999

17期 前嶋晶廣



20期 同期会便り

3月18日（水）新装成りました東京上野の東天紅で恒例の「同期会」が開催され、37名の方が参加されました。初めて参加された久我さん、遠方より参加された山田正行さん、廣野さん他、いつものように近況報告や昔話に盛り上がり、楽しいひと時をすごすことが出来ました。まだ現役で仕事をしている方、リタイヤした方と外見は皆それぞれですが、気持ちはすっかり高校生に、ただ、孫の話、健康のことなど年相応の話題も多くなってきました。

来年は宿泊の同期会を予定しております。

日程は平成28年5月21（土）～22日（日）の一泊二日、場所は群馬県猿ヶ京温泉、ゴルフ組5月21（土）プレースタート10:00～4組於）月夜野カントリークラブ

※今回、宴会において楽器、バンドの演奏が出来るよう計画しております。ジャンルも問わず個人でもアンサンブルでも構いません。希望者を募りますので是非 森、窪田までご連絡下さい。(使用楽器、ジャンルもお願いします)但し楽器は原則個人持ち込みで宜しく。詳細、出欠確認については又別途ご連絡、ご案内いたします。幹事 森 高敏、窪田 晃、連絡係 金子博志、会計 杉 雅俊

【お願い!】皆様をご存知の同期の方のメールアドレスを金子までご連絡ください。現役引退などで現在の情報が古くなり連絡できない方が増えております。またご自身のアドレスを変えられたときにもご連絡ください 20期 金子博志



も次回は是非ご参加ください。会の運営は田中秀紀君(連絡先:hdk-tnk-ssyc-ejil-fqrl@docomo.ne.jp)がしていますのでこの機会に是非ご連絡ください。また皆様とお会いできることを楽しみにしています。 24期 関口 隆



2015年2月26日 新宿にしき会 ~ ベリーダンス鑑賞会 ~
ベトナムガーデンにて

28期 同期会報告

28期同期会6年目を迎えた今年は平成27年5月16日18:30~本年2/7に新年会を催した青山ダイヤモンドホール アカンサスルームにて開催されました。

初参加の豊沢忠氏 大野克彦氏 大塚純氏(香港より参加)を迎え総勢27名でマイクパフォーマンスを交え大いに盛り上がり清水要氏のリードの下『若き血』の熱唱でお開きとなりました。今回ご出席頂いた方々、残念ながらお会いできなかった方々も、次回の同期会でまたお会いできます事を楽しみにしております。今回も会場設定にあたりご尽力頂きました、明治安田厚生事業団 浮乗亨氏、また取り纏めを下された学年幹事の伊能重雄氏、池田欽哉氏に改めて御礼申し上げます。

28期の皆様でメールアドレス未登録の方は今後の同期会イベントのお知らせの為にも是非info@keio-shikikai.jp 気付28期大館宛メールアドレスをお知らせください。現在約150名の登録を頂いておりますが、更に輪を広げたいと思っております。同期の方の消息、情報をご存じの方、また、皆様の近況報告等も、お寄せ下さい。

28期 大館 信

24期 24期の活動報告

私たち24期を「にしき会」と称していますが、主な活動は年2回、2月と8月に懇親会を開催、その他ゴルフコンペなどしており同期の親睦を深めています。

今回は沢田元教諭、山崎元教諭にもお越しいただき昨年続き2月26日にベリーダンスの鑑賞会と懇親会を行いましたので報告します。私の友人でベリーダンスの先生とその生徒さん(普段はOLの方々です)の計3人に来ていただきました。志木高は男子校なので会報に載る写真もほとんどが男性ばかりですが、ダンスを鑑賞した後で女性の方々と撮った写真を掲載します。懇親会もとても華やかな会になりました。

今まで「にしき会」にお越しにならなかった方



頃には35年の歳月はどこへやら、まるで昨日も会っていたかのような普段の挨拶で再会を約束しました。やっぱり志木高の同期は最高です！

30期 佐藤正人

30期 同期会開催レポート

去る2月28日、大学の三田キャンパス「山食」にて、卒業以来初めてとなる同期会が開催されました。卒業から35年、現在の連絡先がわからない者が80人以上いる中、実行委員となった11名がそれぞれの人脈を駆使して連絡を取り続け、合計104人の仲間と4名の元教諭方にご参加いただく大イベントになりました。

立食パーティでありながら、移動するのも大変なほどの賑わい、さらに久しぶりの仲間達はあの頃と見た目も大きく変わってしまい、かつての親友を探すのもひと苦労、あちこちで「お～！オマエ○○かあ！」と大きな笑い声が響いていました。「塾生注目！ 教諭方を囲んでクラスごとに写真を撮ろうではないか！（そうだ!）」という100人オーバーならではの記念写真も撮ることができ、2時間半のパーティはあっという間にお開きとなりました。

「じゃあまたな!」「メールしとくから」帰る



山の会 OB 交流会開催しました

昨年の志木会報で「山の会 OB 会を結成します」とご案内した所、多くの諸先輩方からご連絡を頂戴し、昨年11月6日に19名の参加により第1回目の山の会 OB 交流会を開催することができました。どうやら会の設立は16期の先輩方からのようで、その後空白期間を経て24期の先輩方により再結成された歴史が紐解かれました。与論島遠征のお話や夏合宿での爆笑事件の数々、まさに感動と抱腹絶倒の楽しい時間を過ごすことができました。今後も定期的に交流会を開催していきたいと思っております。名簿が完璧に整備されておりませんので、ご案内が届いていない方がいらっしゃると思っておりますので、どうぞ幹事の方へご連絡を頂けたらと存じます。

写真（敬称略）

- 1列目 37 君塚、18 高宮、16 白幡、17 永谷、25 岸本
- 2列目 37 田中、35 村田、31 森、31 田島、27 富塚、28 大塚、35 大澤
- 3列目 33 大橋、30 川上、35 小出、29 小林、30 長島、35 島崎、37 阿曾

幹事 35期 大澤宏樹 hiroki@ohsawa-tosou.co.jp

幹事 37期 阿曾友淳 aso-tmts@shinnihon.or.jp

35期 大澤宏樹



第1回 志木会マスタース 開催のご報告

10月3日秋晴れの富士 OGM ゴルフクラブ市原コースで、「第一回志木マスタース」が行われました。龍田正浩元教諭や海外組を含め45人が参加して、日ごろ鍛えた腕を競いました。志木会では、各期がそれぞれコンペを開催してきました

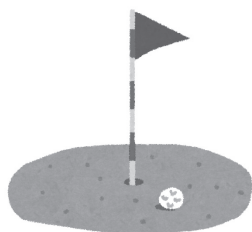


が、「全員集合」のコンペは初めてです。15期から45期までの幅広い世代が躍動し、好プレー珍プレーが続出し、笑顔溢れる一日でした。初代チャンピオンには、36期天野徳雄君が輝きました。プレー後の表彰パーティーも大いに盛り上がり、最後は肩を組んで「若き血」を熱唱しました。

ご参加の皆様には、初めての試みでいたらぬ点もございましたが、どうぞお許してください。

なお、今回お目にかかれなかった皆様。第二回大会には、是非ご参加下さるようお願い致します。

慶應志木会 会長 21期 松下賢次



第2回 志木会マスタース 開催のお知らせ

開催日程：平成27年11月3日(火・祝)

開催場所：ノーザンカントリークラブ錦ヶ原ゴルフ場 なの花コース (スタート時間は調整中)

埼玉県さいたま市西区塚本町 2-22-1 ☎048-624-5651

http://search.gora.golf.rakuten.co.jp/cal/disp/c_id/110057

募集人数：20組 80名

参加費：ラウンドフィー&コンペ参加会費込 18,000円目安

(ラウンドフィー交渉中。詳細は追ってご連絡させていただきます)

アクセス：

【車】首都高速道路与野 IC10km 以内・首都高速5号線美女木 JTC →高速大宮線与野 IC を降ります。

三橋(三)の交差点左折、治水橋を渡り2つ目の信号左折、更に2つ目の信号左折するとコース。

【電車】JR 京浜東北線・埼京線 大宮駅下車／東武東上線 志木駅下車

【クラブバス】●大宮駅西口 6:30 / 7:30 / 8:40 ●志木駅南口 6:30 / 7:30 / 8:00 / 8:40

※季節により時刻表が変わります

■申込方法

慶應志木会事務局まで、電子メールまたはファクシミリにてお申し込み下さい。

E-mail : golf@keio-shikikai.jp ☎048-471-1974

※申し込みの際は、氏名、連絡先、参加人数を必ずご記入下さい

※4名参加で2名ずつ同組でラウンドしたい場合は、AABB とご記入ください。

※ご家族等の女性の参加も OK です。お誘い合わせの上ご参加ください！





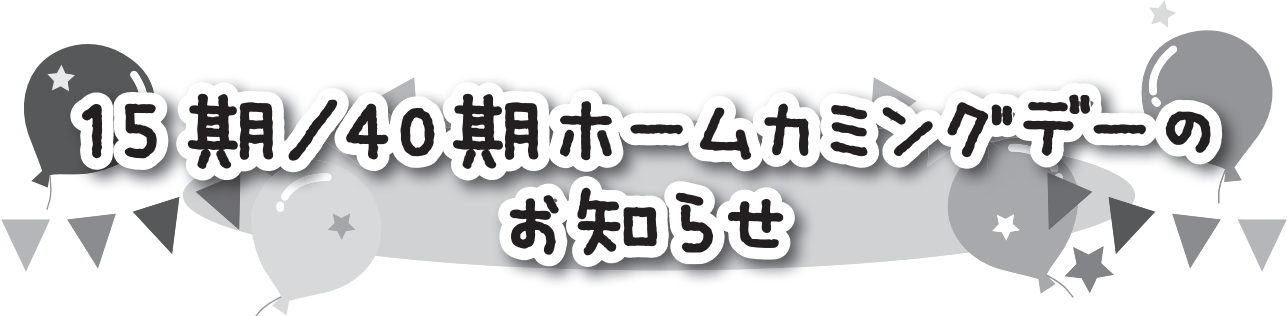
収穫祭のお知らせ



収穫祭担当教諭 山田 達之輔

平成27年度の収穫祭は10月24日(土)・25日(日)の両日に開催されます。今年度の収穫祭のテーマは「粋でいなせ」になりました。浅草のお祭りに見られる賑わいや下町の男らしさを志木高校の雰囲気と重ね合わせるなどしてこのテーマに辿り着いたようです。校内の装飾などもテーマのイメージを反映させるものにしようと考えているようです。

収穫祭においては1年生各クラスによる飲食のお店、有志団体による展示、各部活動のお店や展示、国語・英語・社会・数学など学習活動の展示など多彩な展示を予定しています。また器楽部やワグネルによる演奏、バンドによるライブ演奏、招待試合などの催しも予定しております。皆様のご来場をお待ちしております。



15期/40期ホームカミングデーのお知らせ

今回で10回目を迎えますが、収穫祭の1日目に卒業25周年および卒業50周年の方々をお迎えして、合同ホームカミングデーを開催いたします。

懐かしい教員の方々、志木会会員の皆様との懇親を中心に簡単な立食パーティーを行います。

15期&40期のみなさまはお誘いあわせの上、奮ってご参加下さい。

日 時：平成27年10月24(土) 12:00～

場 所：志木高3階会議室

会 費：無料

申 込：出席ご希望の方は志木会事務局までご連絡下さい



幻の学部 ～獣医畜産専門学校～

志木高等学校元教諭 大館 清次

昭和18年、義塾評議員会に農学部設置の案件が提出された。然し戦時下ということで農学全般に互る設置は認められず、陸軍に関係ある軍馬育成ということで獣医畜産科のみ許可されたという。それも予科、学部は長期に互るので専門学校教育3年制のみ認可。結果として獣医畜産専門学校となった。

しかし、昭和19年度の募集要項には慶應義塾農業専門学校となっていた。

昭和19年4月、一期生が募集され、日吉（予科）第2校舎（理科教室棟）が校舎にあてられた。

その頃は日に日に戦雲急を告げ、文科系学生の徴集延期は廃止され、学徒出陣と称して昭和18年11月には殆ど戦線に動員されていた。

昭和20年4月には二期生が募集された。旧制中学校はこの年より修学年数が短縮され中学5年生と4年生が同時に卒業させられた。

我々獣医畜産科を選んだ者は理科系ということで、医・工学部へ進んだ者と同時に4月から授業が行なわれたが、文科系のコースを選んだ者は、従来通り中学校の動員先の夫々の工場で仕事を続けるよう指示があり、折角合格した上級学校（予科）での授業は行われなかった。

昭和20年8月15日正午の終戦詔書の放送を日吉の農場で聞いたという者もいたが、殆どの学生は夏季休暇中のため自宅で聞いたと思う。

日吉の実習農場といっても、戦時下の食糧増産という名目で、ラグビー場、サッカー場、野球場などの体育会施設は開墾され、陸稲、カボチャ、サツマイモ、小麦畑に姿を変えていた。牧場には乳牛ホルスタイン種が2頭～4頭おり、毎日搾乳され栄養不足の我々は屢々その恩恵に浴した。牧夫として岡村与五郎さん一家が千葉から招かれ住み込んでおられた。仮設の鶏舎には十数羽の白色レグホン種が田村泰成教授の育種の研究用に飼育されていた。戦災に遭われ焼夷弾で大火傷を負われて慶應病院に入院中の小泉信三塾長の病床にも屢々新鮮な卵や牛乳が届けられた。

農場の係員としては、東大農学部長田中丑雄教授のお世話による大井明さん（長野県北佐久農学校出身）が従事しておられた。一期生の吉田貢氏も田村教授のお手伝いをしておられ、二期生の我々は屢々ご指導頂いた。

解剖実習室には体育会部員用の元浴場が充てられ、その一隅に木製ベッドを持ち込み夏季休暇中の農場管理のため実習当番が交代で宿泊した。

9月マッカーサー元帥が厚木飛行場に到着間もなく日吉の校舎にも進駐軍がやって来て接収されてしまった。東京と横浜を結ぶ中原街道の中間点にある日吉に眼をつけたのは、当然のことと思われる。日吉の施設は慶應義塾の校舎だからと返還を迫ったが、彼らの言い分はアメリカ軍は旧日本海軍の施設を占領したのであって慶應から接収したのではないという。確かに昭和18年頃より日吉予科の第一校舎（現高等学校校舎）には旧海軍連合艦隊の司令部が置かれており、日吉の丘の下は蟻の巣のように防空壕が掘り巡らされ、司令部の事務はそこで執られており我々学生は勿論、一般の立入りは禁止されていた。ただ空襲警報時には避難壕として入口付近まで入ることを許された。

米軍が進駐して間もなくアメリカ兵をのせたジープが来校し、24時間以内に撤退せよと命令を下していった。当時残留していた教職員と我々学生の一部は取るものもとり取えず、牛車を仕立て積めるだけの荷物、書籍、事務用品等を積んで農場へ運んだが、ほんの一部にしか過ぎなかった。

9月からの授業は日吉駅西口より徒歩約40分、川崎市中原区蟹ヶ谷にあった元海軍通信隊兵舎跡で行われることになり、そこへ再び牛車を仕立て机、椅子等を運んで急造の教室を仕立てた。

東横線が多摩川の鉄橋を渡るとき遙か西方に多摩丘陵が望まれる、その右手の方に三本の鉄塔が見える。そこが蟹ヶ谷の海軍通信隊であった。日吉駅の西口より町外れの道を丘まで登り、その稜線の農道を、或いは右側に時に左側にと変化する鉄塔を目標に約40分歩かされて学校にたどり着く。雨の日など、とても歩けた道ではなく幾度となくぬかるみに足をとられ、びしょ濡れになり、泥んこになって学校に着く。この様な状態であるから仲間の中には、日吉駅の近くの喫茶店「むらさき」に留まり、三々五々、麻雀組や、帰宅組に分かれて解散してしまう者も多かった。

週に一度、確か金曜日であったと思う、東大からお招きした講師に蟹ヶ谷まで、お運び頂くのは恐縮と、我々が三田の校舎へ向う講義を受けたこともあった。その様な時は帰路は一応慶應ボーイらしく銀ブラと洒落たものであった。

その蟹ヶ谷校舎に於て一期生の諸兄は獣医師国家試験免除のための認定試験を受けられ全員見事合格、卒業と同時に獣医師の免許が得られる資格を獲得された。そのお陰で我々二期生は無試験で卒業時に獣医師の免許を戴くことが出来た。しかし、終戦後の昭和21年に入学した三期生の諸君は、全国一斉に国家試験を課せられたと聞く。

その蟹ヶ谷校舎も失火により校舎の一部を焼失してしまい益々手狭な学校となった。

横浜近郊の旧軍隊の施設の解放を求めあちらこちらに手を尽した。相模鉄道沿線、瀬谷にあった軍の施設を田村教授のお伴をして視察に出掛けたこともあった。

丁度その頃、塾の大先輩で電力界の大御所と謂われた松永安左エ門氏がご自身の経営されていた埼玉県志木町にある東邦産業研究所並びにそれに付属する大専、農牧場施設など凡そ10万坪に及ぶ敷地を全面的に塾に寄付されたのであった。正に天のお恵み、渡りに舟とばかり、校舎施設に困窮していた私ども獣医畜産科と工学部の一部の学科（機械科の一部と応用化学科）が志木に移転することが決まった。昭和22年12月のことである。

永いこと満足な教室で授業を受けることが出来なかった私たちは欣喜雀躍、池袋より東上線という“買出し電車”に乗り換え志木に向った。当時は今と違って電車の本数も少なく40～50分を要した。ところが東武鉄道では届出がないとの理由で学生定期の発行を認めてくれず已むなく12月中旬より冬季休暇ということで休校になってしまった。正月がいつまで休みであったか定かではないが、間もなく3年の最後の試験（卒業試験）を受けたことは確かである。

昭和21年4月に入学した三期生の諸君を最後に、22年からは新入生の募集は行なわず獣医畜産専門学校は僅か三期生まで前後5ヵ年で廃校と決まった。

昭和23年3月 二期生104名が卒業

昭和23年4月より新制度による完成教育を謳った農業高校が新たに発足、生徒募集が行われた。

従って23年度は獣医畜産科三期生が3学年生としてそれに平行して農業高校一期生が志木に於て授業を開始したのであった。

松永安左エ門氏寄贈になる東邦産業研究所は当時農村電化を計画、電気温床による苗の促成栽培、電気による井戸水の汲み上げ灌水など可成り先端の構想をもって研究されていた。これは後になって研究所のOBの方から聞いた話であるが、当時、松永氏は駒込の理化学研究所に匹敵する研究所の建設を計画され、多くの優秀な技術者の養成に当られた。従って研究所員の中には沢山の特許をお持ち

の方がおり、後にホンダ技研に勤められ、多くの発明、新機種の開発など特許をおとりになった方もいらしたようだ。

構内には良質の水を湧出する井戸があり、それがポンプで吸い上げられ、校内や舎宅内各所に配水されていた。戦後の一時期、電気事情が悪く、週2回（火・金曜日）休電日があり朝7時～夕5時まで停電、従ってポンプも作動せず水も出なくなってしまう。普段はすべて電化されて便利であったが、この時ばかりは電化された施設をうらめしく思った。殊に鶏の系統繁殖をしていた時期は孵卵器の操作に苦慮した。湯タンポや、薪ストーブによる室温の保持など今では考えられないような苦勞もした。

付属施設として舎宅以外に6町歩に及ぶ農場とそれに伴う牧場があり、正に獣医畜産科並びに農業高校にはうってつけの施設を備えた理想的な学園となったのである。しかし戦争末期～昭和23年まで畑には誰の手も入らず放置されていたため砂漠のように荒れていた。23年3月17日 卒業試験を終了した翌日から我々4名（建部、高山、宮部、大館）は、農学部建設を夢見て、三田（文科系学部）への進学をすることもなく、学校に残り、農地の整備に取りかかった。（上記の4名の者は在学中より田村泰成教授、河口真一主事より、学校に残り、農学部建設に力を貸すよう指名されていた。）

4月から開校される農業高校の実習圃場整備に従事したのである。

関東名物、空っ風の吹きすさぶ中、万丈の砂塵に悩まされ乍ら、メートル尺1本を駆使し、1反歩ずつの区画と農道の建設から始まった。開墾は人力では間に合わず馬力による二頭立てプラウで行なった。幸い日吉の農場で役牛や馬を駆ってプラウの使用は多少心得ていた心算であったが、我々よりも年上の老馬に鞭打つての作業は並々ならぬ苦勞であった。とはいえ農業高校の開校に間に合わせるべく必死の作業であった。しかもその間、周囲の環境は慶應に対して好意的ではなく、学校卒業後間もない我々4名には厳しいものであった。

先ず東邦産業研究所付属大学校（各種学校）の学生は希望すればそのまま慶應大学の予科若しくは学部の相当する学年に編入が認められていたにも拘らず、それを潔しとせず学園の慶應移管反対のムシロ旗を掲げて反抗した。それに加えて地域の旧農家の地主（松永氏に買い上げられた元の地主）たちが松永氏の不在地主であることを盾に土地の返還を唱え、我々慶應に迫ってきた。そして「慶應のお坊ちゃんに何が出来るか」と冷やかな眼差しで我々の農法を眺めていた。

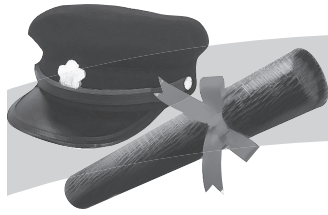
そうこうしている中に、慶應義塾農業高等学校の知事認可が昭和23年4月1日付をもって下りた。更に5月27日には志木に於て開校式が挙行される運びとなった。当日は晴天に恵まれ、塾内外の来賓多数が参列されて、式は校舎前庭の芝生に於て盛大に執り行われた。慶應義塾が埼玉県に第一歩を踏み出した記念すべき日であり近く50周年を迎えることとなる。

斯くして昭和19年に日吉で呱呱の声を上げた獣医畜産専門学校は蟹ヶ谷、志木と転々とし慶應義塾百有余年の歴史の中で戦前、戦後の僅か5ヵ年ではあったがその終息を見た。

戦後の日本の復興を目指し、それには先ず国民の栄養改善、体位向上を第一と考え、それに相応しい、新しい農業形態を樹立させることを夢見て計画された農学部も遂に日の目を見ることなく「幻の学部」に終わってしまったのである。

しかし、農業高校は、更に昭和32年から志木高校（普通高校）に転換され、今日では全国でも屈指の名門校として発展してきた。

志木高校の生徒諸君！ 今君達が若いエネルギーを躍動させているグラウンドの土にも、明るい近代的な校舎の下の土にも、志木高の黎明期に多くの困難と戦いながら努力を惜しまなかった幾多の先輩たちの汗が浸み透っていることを忘れないで欲しい。そしてその努力は君達が勤勉に、大らかに逞しく育ち、志木高がゆるぎなく充実発展を続ける時にこそ報われるのだということを肝に銘じて欲しい。



卒業式に招待されて

25期 高橋 宣行

去る3月24日(火)、志木高卒業40周年を記念して学校よりご招待を頂き卒業式に参加させて頂きました。

当日は平日の、しかも年度末という条件の中57名の同期が参加し久しぶりの再会と学校訪問を喜びながら40歳年下の後輩達の卒業という門出を祝いました。首都圏外からも多数、さらに海外から2名参加という嬉しいイベントとなりました。

式の中で高橋校長から「志木高時代の経験は良き思い出ですか?」という趣旨の問いかけを頂き、ほぼ全員? が大きな○印を両手で作りお応えする場面もありました。

式後会議室で懇親会を催して頂き参加者1人1人に記念証を頂戴し、40年前の卒業式、その3年前と同じ場所＝校門前での記念写真撮影の後散会となりました。

その後有志の二次会を志木駅前の居酒屋にて龍田元教諭と30数名が参加でまた盛り上がり本当に心に残る1日となりました。



平成26年度 卒業後40年招待 25期生 慶應義塾志木高等学校 2015年3月24日

平成26年度慶應志木会 収支報告書（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

単位：円

収 入		支 出	
摘 要	金 額	摘 要	金 額
前 期 繰 越 金	16,001,688	会 報 費	2,330,640
維 持 会 費	4,556,000	会 議 費	611,319
新 入 会 費	1,620,000	式 典 費	80,000
物 販 収 入	254,218	交 際 費	80,567
幹 事 会 費	201,000	通 信 費	29,092
寄 付 金	115,321	事 務 費	364,852
預 金 利 息	2,598	事 業 費	165,452
		パ ソ コ ン 関 連 費	181,042
		会 費 返 却	20,000
		収 穫 祭 寄 付	300,000
		卒 業 式 寄 付	300,000
		卒 業 生 記 念 品 ・ 志 木 会 賞 料	279,180
		手 数 料	7,200
収 入 小 計	6,749,137	支 出 小 計	4,749,344
		次 期 繰 越 金	18,001,481
合 計	22,750,825	合 計	22,750,825

預金残高明細（3月末現在）

単位：円

(銀 行)	(種 別)	(適 用)	(管 理)	(残高金額)
り そ な	普 通	一 般	増 山	768,226
埼玉りそな	普 通	入会金	増 山	3,013,570
郵 便 局	振 替	会費口	増 山	1,745,538
郵 便 局	普 通	会費口	増 山	9,461,602
郵 便 局	振 替	パーティー会費	増 山	10,000
三井住友	普 通	小 口	金 森	2,237,944
埼玉りそな	普 通	小 口	竹 内	764,601
り そ な	普 通	寄 付	増 山	0
合 計				18,001,481

監査報告

慶應志木会会則第18条に基づき、平成26年度（平成26年4月1日～平成27年3月31日）の会計監査を実施いたしました。

その結果、会計処理につきましては適正に処理されていることを此処に承認します。

平成27年5月15日

監 事 千葉 宗雄

監 事 原田 薫

慶應志木会 役員・幹事・クラブ幹事

■役員■

名誉会長	高橋 郁夫 (校長)	事務局幹事	宇野 宏 (35期)	総務担当
会長	松下 賢次 (21期)		大澤 宏樹 (35期)	企画担当
副会長	大塚 彰 (主事)		矢下 健二 (35期)	企画担当
	金子 博志 (20期)	情報管理・広報担当	天野 徳雄 (36期)	財務担当
	金森 悟 (27期)	財務・企画担当	田内 久晴 (37期)	企画担当
	大館 信 (28期)	総務担当(兼事務局長)	大久保佐太郎 (55期)	広報担当
幹事長	内山 洋一 (21期)	会計監事	千葉 宗雄 (13期)	
副幹事長	相田 英文 (29期)		原田 薫 (15期)	
事務局長	大館 信 (28期)	兼務	増山 治一郎 (17期)	

■顧問■

顧問	櫻井 英太郎 (1期)	龍野 和久 (1期)	宮田 勝 (5期)	多田 毅 (7期)
	五老 輝彦 (9期)	品川 雅貴 (12期)	本橋 重夫 (15期)	鹿野 元章 (16期)
	西村 孝一 (17期)	中村 弘司 (23期)	山崎 嘉正 (26期)	
特別顧問	阪東 宗文 (16期)	増山 治一郎 (17期)		

■幹事■

期	幹 事									
1	藤井 淳	松本 仙太郎								
2	遠山 正秀	惣滑谷 岱司	河邊 勝利							
3	品川 仁	菅野 光男								
4	藤岡 民良	高橋 公郎	伊藤 金次郎	三浦 靖夫						
5	寺嶋 延行	小林 石三	関山 清							
6	真野 信裕	松本 福太郎	茂木 光義	梅澤 勉						
7	熊崎 順次郎	鈴木 正治	渡辺 正							
8	青木 宏至	品川 宗弘	大須賀 均	磯部 和宏						
9	五老輝彦(兼)	佐々木 弘暢	荒井 浩							
10	馬場 紘二	斉藤 彰	細井 延昭	吉川 忠裕						
11	馬淵 祥宏	森原 孝夫	菅谷 正樹	西 光由	渋谷 哲男					
12	川久保 達也	岡田 幸次郎	原田 雄介	並木 美和						
13	清水 武寿	椎野 開八郎	山本 雄一	飯島 智						
14	小林 好二	築山 正俊								
15	小笠原 準一	倉田 伸二	深瀬 啓司							
16	川端 清治	工藤 親彦	近藤 隆夫	橋本 幸男						
17	莊 敬典	北村 基樹	前嶋 晶廣	野村 真	中村 康二	川鍋 二郎				
18	伊藤 博行	黒田 豊	徳永 良							
19	中西 廣策	鈴木 基晴	齋藤 治雄							
20	中 一弥	杉 雅俊								
21	飯島 敏一	福地 敏之	折登 泰樹	小林 哲男	森 光太郎					
22	高橋 康雄	櫻井 造雄	三木 哲郎	深澤 澄	江夏 雄二	増田 裕	城 克			
	深井 昭									
23	夏目 雅	梅澤 由起	森田 榮一	三義 英一	坂上 隆彦					
24	赤木 均	島影 幸有	田沼 潔	京本 修						
25	小川 洋	高橋 宣行	島田 徹							
26	山田 純男	船山 剛	小池 雅澄	善木 達明	澤田 尚史	中川 龍士	渡辺 規人			
	荻原 弘幸									
27	鬼頭 真一郎	永井 利宗								
28	伊能 重雄	池田 欽哉								
29	大熊 伸治	鳥羽 克治	清重 利昌	池上 忠嗣						
30	岸田 一男	原田 仁敦	佐藤 正人	新 隆文						
31	荻田 健之	福島 聡	布施 浩之	梶原 靖友	内匠屋 健					
32	町野 素久	横江 資友	梅田 幸彦	鈴木 厚	伊勢 学					

33	小玉 裕	河野 潔	青木 勝	本多 関雄				
34	大内 正博	山下 孝	古長 玄一郎					
35	須佐美 文忠	昌谷 健司	岩瀬 克也					
36	阿部 元雅							
37	鍋島 康友	永田 博詳	植島 博之	原田 純一				
38	知久 康成	中里 栄基	金子 隆則	荒瀬 光宏				
39	丸山 和紀	田中 浩樹	大西 重夫	鈴川 智徳				
40	井上 晴生	税所 篤史	甲斐 正英					
41	柏木 徹	三田 貴良						
42	安 重煥	小島 圭	御山 義明					
43	藪原 一暁	高松 智之	田口 鍊					
44	宮田 真詩							
45	若松 洋雄	小山 一	小川 圭					
46	谷口 剛	川崎 聡						
47	小寺 俊且	谷 嘉康	森 茂之	西本 祥仁	濱岡 勇介	小林 圭		
48	亀山 雄高	黒川 真行	寺西 富広					
49	石川 快	廣江 安彦						
50	高岡 功	徳田 征之	小林 敬英	齋藤 収				
51	石井 強太	森川 渉	浅岡 良彦	治田 和明				
52	毛呂 淳一郎	渡邊 慶太郎						
53	森岡 多門	林 憲						
54	塚本 大夢	中川 雅之						
55	池端 俊太	小泉 貴史						
56	大久保 匠馬	若林 隆晃	横澤 慶太					
57	和田 亮	時田 亜希夫						
58	宮山 明	佐藤 友紀						
59	箱崎 勇人	本多 清礼						
60	岡田 哲哉	中込 健太	工藤 雄太					
61	井上 裕紀	富澤 直嗣						
62	荒木 謙人	岡本 尚之						
63	星野 真瑠也	星野 宏太						
64	市川 広大	巽 祐一	池上 太悟	亀倉 玲	森 大和			
65	秋田 雅信	友野 雅樹						

■ クラブ幹事 ■

硬式庭球部	田中 真介 (17期)	バレー部	進藤 英典 (23期)	枇杷の会	深瀬 啓司 (15期)
硬式野球部	小川 光二 (17期)	ホッケー部	菅野 芳哉 (29期)	ワグネル	山浦 元気 (61期)
バスケット部	木村 尚敬 (37期)	サッカー部	中村 直人 (38期)	ワグネル	南 琳太 (61期)
卓球部	浅生 潤 (23期)	スキー部	渡辺 一仁 (51期)		

< 訃報 >

渡部 清一郎君 (35期)
ご冥福をお祈りいたします

編輯 後 記

私は志木会以外に2つ、同窓会の手伝いをしてい
ます。一つは祖父の海軍軍医の同窓会で、これは平
均年齢が92歳を突破し、3年前に終結しました。も
う一つは大学ゼミの同窓会ですが、こちらも今年教
授が退任したので会員はもう増えません。

その点、志木会は毎年二百数十人の会員が増え続
け、一桁期の先輩もとても精力的です。数十年後の
会報は、何ページになるのでしょうか。今から楽し
みです。(さたらう)

慶應志木会会報 2015 ● Vol.35

編輯・発行 慶應志木会 (慶應義塾志木高等学校同窓会)
〒353-0004 埼玉県志木市本町4-14-1
Tel. 048-471-1959 (志木高内)
発行人 松下賢次
発行日 平成27年7月10日
印刷 (株)精興社
ウェブサイト <http://www.keio-shikikai.jp/>
電子メール info@keio-shikikai.jp